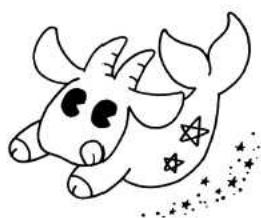


YOU優だより



今月の担当
石田 篤子 保健師

分析すると以下の特徴がみられました。

(1)コレステロール高値は女性だけでなく男性も多い。

(2)肥満は50歳代の男性、60歳代の女性が多い。

(3)血圧は上140代・下90代の若干高めの男性が多い。

(4)貧血は女性に比べ男性に多く、男性は65歳以上に女性は40代が多い。

肥満・血糖・血圧・コレステロールが高めなど複数の因子をもつと「動脈硬化」の進行が早くなり、心臓病や脳卒中を起こしやすくなります。そのため、肥満・高血圧・高脂血症・糖尿病は「死の四重奏」と呼ばれています。

今一度ご自分の検診結果を見直して下さい。

新しい年が始まりました。今年も実りある一年にするため、心身共に準備を始めたいものですね。今月は「今年度の検診結果」についてお知らせします。

主治医の指示に従い病院で総合的に診てもらいましょう。健診結果を基に生活習慣を改善し、いつまでも健康体でいられるといいですね。

結果は「要医療」(治療継続を含む)が受診者の半数以上と多く、「異常なし」は2割弱と少なくなっています。(次頁図4)所見で多かったのは、

①コレステロール220以上
②肥満 BMI-25以上
③軽症高血圧(140-

159/90-99)
貧血(ヘモグロビン男性14以下 女性12以下)で

近年、受診者の三割以上が70歳以上の方となっています。(次頁図2-3)

成人病検査結果から

若干減少傾向

若干の増減はあります
が、成人病、胃・肺・大腸がん検診は減少傾向、子宮・乳がん検診は横ばいとなっています。(次頁図1)

これらを性・年齢別に

2~3割に留まっています。(次頁図6)毎年ではありますながら、検診でがんが発見されています。集団検診で発見されたがんは早期のものが多く、医療を受け元気な元の生活にもどっています。

お腹がいたたかいで

①病院で経過を診ている方・治療をしている方は引き続き病院で診てもらいましょう。

②精密検査になつても症状がないからと受診せず、次の年の検診でチェックするのを止めましょう。

③高齢者がらもがんは発見されています。自分に関係ないと思わず検診を受けましょう。

四月の検診を例にあげてみます。

検診料金を知っていますか?

少ししています。(次頁図7)閉経後、自分には関係のない検診と思われがちですが、閉経後も必要な検診です。

成人病・胃・肺・大腸がん検査を受けた場合		子宮(頸部・超音波)・乳(視触診・マンモ)がん検査を受けた場合	
69歳以下	町の補助 11,380円 個人負担 2,000円	69歳以下	町の補助 9,700円 個人負担 1,500円
70歳以上	町の補助 12,510円 個人負担 なし	70歳以上	町の補助 11,200円 個人負担 なし

高齢者になるほど、がんの発生は多くなります
が、70歳以上の受診は減っています。(次頁図5)

胃・肺・大腸がん検査の結果から

子宮・乳がん検査の結果から

少しています。(次頁図7)閉経後、自分には関係のない検診と思われるが、今自分のやれる事に頑張っていられるよう。10年後趣味や仕事を見つけてみませんか。